

2017年度「将棋日本シリーズ JTプロ公式戦 / テーブルマークこども大会」記者発表会

豊島JT杯覇者が「JTプロ公式戦」の2連覇を目指す
「テーブルマークこども大会」は、17回目の実施！



将棋会館2F研修室にて

左から、佐藤日本将棋連盟会長、豊島JT杯覇者、宮崎JT取締役副社長、川股テーブルマーク代表取締役社長

2017年度『将棋日本シリーズ JTプロ公式戦 / テーブルマークこども大会』の開催概要が、4月14日(金)将棋会館において発表されました。

本シリーズは、『将棋で「ココロ」を育てたい。』をテーマに、今年で38回目の“見て学ぶ”「JTプロ公式戦」、17回目の“指して学ぶ”「テーブルマークこども大会」が、同日同会場で開催される大会です。

日本の伝統文化である将棋を通じて、地域社会の活性化および青少年の健全育成に貢献したいとの思いから全国11地区にて開催してまいります。

記者発表会での主催者・協賛者・JT杯覇者のコメント

■主催:公益社団法人 日本将棋連盟 会長 佐藤康光 様

昨年度の「JTプロ公式戦」では、豊島八段が念願の棋戦初優勝を果たされました。今年も連覇を目指していかれることと思いますが、40代30代20代とバリエーションに富んだ各世代間の一層激しい戦いとなりますので、目が離せない熱戦になると思います。また、熊本地震の影響で昨年のプロ公式戦が中止だった熊本大会は、今年は実施されますので復興へのエネルギーになればと思っております。「テーブルマークこども大会」は、一昨年1万人以上のこどもたちの参加となりましたが、将棋を題材にした映画やアニメ等の影響もあり将棋人気も出ていますので、今年もまた大台を越えるのではないかと期待しております。今年もたくさんの皆様にご参加いただきたいと思います。

■協賛:日本たばこ産業株式会社 取締役副社長 宮崎秀樹 様

今年も12名のトッププロ棋士の皆様の白熱した戦いを全国の将棋ファンの方々にお届けすることができますこと、協賛者として大変光栄に感じております。昨年は豊島八段が2回目の出場で、見事、初のJT杯を獲得。待望の棋戦初優勝を果たされました。20代同士の決勝戦ということで、若手棋士の躍進が目立ったシリーズでしたが、今年の中堅・ベテランの棋士も出場返り咲きとなっております。平成生まれ初のプロ棋士である豊島JT杯覇者が、歴戦の猛者たちをおさえ2連覇を飾るのか。中堅・ベテラン棋士たちが意地をみせるのか。私がひとつお約束できますことは、昨年とはまた違った好対局がいくつも見られるということでございます。公開棋戦ならではの緊張感ある対局を、是非一人でも多くの方々にご観戦いただきたいと思います。

■協賛:テーブルマーク株式会社 代表取締役社長 川股篤博 様

昨年14歳で史上最年少プロ棋士となった藤井聡太四段は、2011年度に本シリーズ東海大会の低学年の部で優勝した経験がございます。今後も本大会を通じて、次世代のトップレベルのプロ棋士の輩出に貢献していきたいと存じます。また、昨年度発生した熊本地震の影響により、熊本大会開催を見送ることになりましたが、大会を楽しみにしていたこどもたちのために、11月に「熊本応援大会」を開催しました。当社としまして、本シリーズ協賛を通じて「一番大切な人に食べてもらいたい。」との思いのもと、価値ある商品を提供する企業だからこそできるご協力、支援を今後も検討、実施してまいります。

■前年度優勝者:豊島将之 JT杯覇者

僕にとっての「JTプロ公式戦」は、トッププロと対局できる貴重な機会、またそれをファンの方に観ていただける機会でもあります。昨年の「JTプロ公式戦」での優勝は、大きな自信と励みになりました。今年もJT杯覇者として参加しますので、昨年同様思い切りよく指したいと思っておりますし、ファンの方にいい将棋をお見せしたいと思っております。

【お問い合わせ先】

「将棋日本シリーズ」総合事務局 担当 稲葉・野中
〒104-6038 東京都中央区晴海1-8-10 晴海トリトンスクエアX棟 (株)I&S BBDO内
TEL 03-5166-0290 FAX 03-5166-0296 E-mail info@jt-shogi.jp